

「フードホールレンジ」概要

<新商品>

フルーツティー

種類：4種（ストロベリー&キウイ/フルーツカテル/マンゴ&パッションフルーツ/ブラッドオレンジ）
容量：125g、価格：税込 1,890円（本体価格 1,800円）

ニューワールドティー

種類：6種（レモンマートル/モロッカミント/ルイボス/ハニーマッシュ/デザートタイム/レモングラス）
容量：30~40g、価格：税込 998円（本体価格 950円）

ジャム

種類：9種（ストロベリー/ラズベリー/ブルーベリー/ブラックカント/モロヘイヤ
アプリコット/シッカットマーマレード/シッカットマーマレード/スリフルーツマレード）

容量：42g, 227g, 340g

価格：税込 336円~1,890円（本体価格 320円~1,800円）

はちみつ

種類：2種（ブルガリアタイム/タスマニアブルーウッド）

容量：375g、価格：税込 2,940円、3,150円（本体価格 2,800円、3,000円）

ビスケット

種類：3種（アフタヌーンセレクション/ブレイクファーストセレクション/アフターディナーセレクション）

容量：300g、価格：税込 3,360円（本体価格 3,200円）

チョコバー

種類：4種（ココア/オレンジ/ミルク/エスプレッソ）

容量：37g、価格：税込 630円（本体価格 600円）

ホットチョコレート

種類：3種（ホワイト/ミルク/ダーク）

容量：250g、価格：税込 3,675円（本体価格 3,500円）

マスタード・チャツネ

種類：7種（ホールグレイン/イングリッシュ/ディジョン/ハニーマッシュ/アップル/トマト&ディーツ/オリーブオイル）

容量：185~340g、価格：税込 1,575~1,890円（本体価格 1,500~1,800円）



上から、
フルーツインフュージョン「ストロベリー&キウイ」
「ブラッドオレンジ」「マンゴ&パッションフルーツ」
「フルーツカテル」



左から、「オレンジマーマレード」
はちみつ、ジャム「ストロベリー」

<既存商品>

ティーバッグ

種類：5種（イングリッシュブレイクファースト/ダージリン/アッサム/セイロン/アールグレイ）

容量：50g、価格：税込 998円（本体価格 950円）

パッケージティー

種類：5種（イングリッシュブレイクファースト/ダージリン/アッサム/セイロン/アールグレイ）

容量：125g、価格：税込 1,365~1,680円（本体価格 1,300~1,600円）

ハーブティー

種類：2種（カミール/レモンペパーナ）

容量：37.5g, 50g、価格：税込 1,575円（本体価格 1,500円）

フレーバーティーバッグ

種類：4種（アップル/ストロベリー/マンゴ/パッションフルーツ）

容量：50g、価格：税込 1,890円（本体価格 1,800円）

ビスケット

種類：4種（ステミジジャー/チョコレートチャック/ハニ-&オーツ/チョコチャック&クランベリー）

容量：200g、価格：税込 2,415円（本体価格 2,300円）



ティーバッグ「イングリッシュブレイクファースト」

<取扱い店舗>

札幌三越、青森中三、仙台三越、うすい百貨店、水戸京成百貨店、日本橋三越本店、新宿三越アルコット、銀座三越、池袋三越、武蔵村山三越、東武百貨店池袋店、恵比寿三越、東急東横店、東急吉祥寺店、東急たまプラーザ店、東急町田店、千葉三越、さいか屋藤沢店、さいか屋横須賀店、岡島、名古屋三越栄店、新潟三越、井上アイシティ21店、近鉄奈良店、和歌山近鉄、大丸心齋橋店、大丸神戸店、山陽百貨店、広島三越、高松三越、松山三越、一畑百貨店、福岡三越、鹿児島三越、大分トキ八、沖縄三越
日本橋三越本店では一部 2007年10月30日より先行発売中

【参考資料】

1. フードホールとは

ロンドンのハロッズ1階にある広大な食料品売場のこと。ハロッズは、食料品店からスタートした百貨店であるため、フードホールは店舗の中心であり、ブランドの原点でもあります。ハロッズブランドは富裕層のグルメなマダムの御用達です。

2. フードホールの装飾タイルと新パッケージング

新商品シリーズ「フードホールレンジ」のパッケージは、フードホールの随所に見られる見事な装飾タイルからインスピレーションを受けており、メタリックシルバーをアクセントに使った、ビビッドカラーが特徴。タイルのデザインを手がけたウィリアム・ジェームズ・ニートビー(1890~1910)は、アーツ&クラフツ運動(1)から隆盛をほこった19世紀末から20世紀初頭に活躍した陶芸彫刻家です。1902年から1年間かけて完成したミートホールの天井を彩る装飾タイルが彼の代表作で、狩の様子がいきいきと描かれています。100年以上経った今日でも、ニートビーの作品からは斬新さや輝きが放たれていて、鮮やかで現代的な今回のパッケージングを考案するにあたり、インスピレーションの源としてふたたび取り上げられることとなったのです。

日本国内のハロッズショップの装飾に使用されたり、雑貨デザインのモチーフとしても頻繁に登場する「ピーコック」(くじゃく)のタイルは、ニートビー活躍時期より後の1925年頃のものといわれ、20世紀初頭の人気モチーフであったことがうかがえます。

< ロンドン・ハロッズのタイル装飾 >



ミート&フィッシュホールのタイル装飾(W.J.ニートビー作)



1925年頃のピーコック



W.J.ニートビーのピーコック

< 新パッケージングのインスピレーション例 >



1 アーツ&クラフツ運動

19世紀末に、デザイナーであり思想家でもあるウィリアム・モリスが提唱したデザイン運動。18~19世紀に起こった産業革命の結果、大量生産による粗悪なものがあふれた状況を嘆いたモリスは、中世の手仕事のよさを見直して生活と芸術の統一を主張。壁紙や家具などのインテリア製品を多く残した。自然のモチーフを取り入れた作品は、後の仏アールヌーボーなどにも大きな影響を与えた。